

実践事例

1 実践の概要

(1) 取り組みのねらい

- ① いじめの早期発見、早期対応を図るための日常的な指導を行う。
- ② いじめは絶対に許されない卑劣な行為として、子どもの立場に立った指導をする。
- ③ 「開かれた学校」により、地域と連携していじめの防止に取り組む。

(2) 取り組みの内容

- ① 積極的な生徒指導に努める。
 - 望ましい学級集団作りに努める。
 - 児童相互、児童と教師、保護者と教師の信頼関係、望ましい人間関係作りに努める。
 - 児童と保護者の触れ合いを大切にする。
 - ・ 児童の意識調査を実施し、教育相談を充実させる。
 - ・ 学区内訪問（年2回、4月・夏季休業中実施）
 - ・ 学級懇談
 - ・ 児童と日常的な触れ合いと児童理解に努める。
 - 生徒指導の機能を生かした授業を実践する。
- ② それぞれの役割を生かした組織により、共通理解の下、継続的な実践をする。
 - 生徒指導委員会を活性化し、指導方針や対応策などを検討する。
 - 生徒指導全体協議会により、事例研究や共通理解を深め、指導力の向上を目指す。
 - 養護教諭との情報の共有化
- ③ 家庭・地域社会との連携により、いじめを許さない風潮を浸透させる。
 - 学校・学級便り ○ PTA教育講演会 ○ 授業参観
 - PTA全体会
- ④ いじめ問題発生時対応の手順
 - 情報のキャッチ 相談 児童や保護者からの訴え
 - ↓
 - 事実関係の調査と究明
 - ↓ ○ 迅速かつ正確に事実関係を調査する。
 - ↓ ○ 生徒指導委員会を対策チームとして、対応策などの方針を検討する。
 - ↓ ○ 「報告・連絡・相談」を基本に、校長の指導の下に組織的に対応する。
 - 関係児童への対応
 - ↓ i) いじめを受けた児童への指導
 - ↓ ・ 味方であり、守り通すという毅然とした態度を示す。
 - ↓ ・ 児童の気持ちを共感的に聞く。（自分の気持ちを話させる。）
 - ↓ ・ 人（教師、友達、両親など）に話すことは正当な行為であることを理解させ、相談することの意義を理解させる。
 - ↓ ii) まわりの児童への指導
 - ↓ ・ 学級など全体に指導をするものと、個人指導するものを整理して対応する。
 - ↓ ・ いじめは断固として許されない態度を示し、傍観者もいじめと同じであることを指導する。
 - ↓ ・ いじめの情報は、すぐに先生に知らせることを指導する。
 - ↓ iii) いじめに関わった児童への指導
 - ↓ ・ いじめは人間として絶対許されないという毅然とした態度で指導する。

- ↓ ・ いじめの背景を探り、なぜいじめを繰り返したかを考えさせる。
- ↓ ・ 相手の気持ちを理解させる。

説明責任

- ↓ i) 児童、保護者の心情を理解し、誠意ある態度で接する。
- ↓ ii) 関係した児童の保護者に調査して明らかになったことを知らせ、解決への方針や取り組み、短期的な解決の姿、長期的な支援を説明する。
- ↓ iii) 積極的に家庭訪問などをして、信頼関係を築くように努める。
- ↓ iv) 必要に応じて関係機関やPTAと連携する。

事例研究

- i) 指導の記録を整理する。
- ii) 共通理解を図り、教育活動全体を点検し、いじめを防ぐ対策を確立し、組織的に継続実践をする。
- iii) 定期的に経過を保護者に知らせる。
- iv) 継続的な児童の観察を続ける。

2 実践の成果

- 上記内容での取り組みを全校的に実施した結果、今年度はいじめに関する問題は発生していない。
- 特に、いじめに発展しそうな悪口や体の接触などについては、その都度、相手の気持ちを考えて生活するにはたaraきかけた結果、そのようなトラブルも減少してきている。

3 取り組みの評価

- 生徒指導の機能を生かした授業により、積極的な生徒指導を行う点に関しては、各担任が児童一人ひとりのよさを把握し、より充実させる必要がある。
- 道徳の時間での児童の心に訴える指導を充実させ、正義感、思いやり、勇気などをより一層育てていく必要がある。

4 実践に関する資料など

早期発見のポイント

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1 授業に意欲をなくし、集中力がなくなってきた。 | 2 授業が始まってから、一人で教室に来る。 |
| 3 授業中に抜け出すことがある。 | 4 保健室に出入りすることが多くなる。 |
| 5 用もないのに職員室前をうろうろする。 | 6 教師を避けるようになる。 |
| 7 グループから急に離れるなど、交友関係が変化してくる。 | 8 授業のはじめに学習用具を片付けたりしている。 |
| 9 カバン、靴などをよく隠される。 | 10 机やいすが壊されたり、汚されたりしている。 |
| 11 いつも遊んでいる子と遊ばなくなる。 | 12 休み時間や放課後、一人でいることが多い。 |
| 13 教科書やノート、カバンなどにいたずらをされている。 | 14 班長など、責任ある仕事を突然やめたいと言いだす。 |
| 15 日記などに、不安や悩みなどを訴えてくる。 | 16 理由もなく欠席、遅刻、早退が増える。 |
| 17 いつも、おどおどしているように見える。 | 18 精気がなく、沈んでいるように見える。 |
| 19 ほめられると、ケチをつけられたり、はやされたりする。 | 20 教師の質問に答えたり、意見を述べたりすると、やじられたり冷やかされたりする。 |
| 21 正しい意見を述べても、支持されなくなる。 | 22 グループでトイレなどから出てくる。 |
| 23 何かことが起こるとすぐに名前があげられる。 | 24 何かにつけて、厳しく批判される。 |
| 25 推薦などいつもふざけ半分に名前が挙げられる。 | 26 「クラスの恥」「…菌」などと言われる。 |
| 27 常に人のいいなりになる。 | 28 理由のはっきりしない打撲や傷跡がある。 |
| 29 衣服に汚れが見られる。 | 30 刃物を持ち歩いたりする。 |
| 31 食欲がなかったり、腹痛や吐き気、頭痛を訴えたりする。 | 32 人格を無視されるようなあだ名がつけられている。 |